

腹部領域における高磁場磁気共鳴撮影装置の新たな撮像技術に関する有用性の検証

【はじめに】

高磁場磁気共鳴撮影装置(以下、高磁場MRI装置)は、画像診断装置の一つです。人の体内を痛みを伴わずに観察可能な医療機器であり、病気の診断や治療方針を決定する上で、必要不可欠な検査です。九州大学病院には、高性能の高磁場MRI装置が導入されています。その装置の性能を十分に生かした最新の撮像技術を用いた画像を撮影することが可能です。それは、現在、標準的に使用されている撮像法よりも有用であり、患者さんに大きな利益を与えていると考えています。

【対象】

九州大学病院で腹部疾患の精査のため、MRIが撮影された方の画像(期間:2008年4月1日から2011年12月31日、症例数:100例)を対象とします。対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。

【研究内容】

現在MRI検査で標準的に使用されている技術で撮像された画像と、新たに開発された技術で撮像された画像を比較することで、現在の標準的な方法では問題とされていることが、新たな方法では解決されるのか、また更なる改良が必要であるかを検証します。また、新たな方法で撮影された画像が、患者さんへどのような利益をもたらすのかを検証します。

【患者さんの個人情報の管理について】

個人情報漏洩を防ぐため、九州大学医学研究院 臨床放射線科学分野においては、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究の実施過程及びその結果の公表(学会や論文等)の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

【研究期間】

研究を行う期間は承認日から2015年3月31日まで

【医学上の貢献】

新たに開発された方法で撮影された画像は、病気を診断するために必要な情報を詳細に提供することが可能です。それにより、病変の検出力の向上、病変の範囲の評価、良性か悪性の判断などに関する付加情報が得られ、今後の治療方針の決定に役に立つと考えられます。

【研究機関・組織】

九州大学医学研究院 臨床放射線科学 教授 本田 浩(責任者)

九州大学病院 放射線科 医員 高山 幸久

九州大学医学研究院 臨床放射線科学 助教 西江 昭弘

九州大学医学研究院 臨床放射線科学 助教 浅山 良樹

連絡先: 〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1 Tel: 092-642-5695 担当者: 高山 幸久